

# 平成29年度 事業報告

## 1 実施状況（概要）

### （1）中期経営計画の推進

中期経営計画（平成26年度～30年度）について、計画期間における確実な達成を図るため、28年度までの進捗状況を点検し、国や京都市の施策の動向等も踏まえて必要な見直しを行いました。

また、地域の福祉ニーズや介護ニーズの増加を見据え、地域包括ケアを推進する観点から、24時間365日のサービス提供体制の確立に向けて、必要な介護人材の確保や地域密着型サービスの充実等に積極的に取り組んだほか、公益的な取組をはじめ、高齢者、障害のある方、子ども等幅広い利用者への支援やサービスにおいて、各部門や関係機関との連携、協働を行いつつ、総合的な福祉サービスの提供に努めました。

#### <重点事項>

#### ア 24時間365日のサービス提供体制の確立に向けた取組

人材の確保が極めて困難になっていることから、人材確保のための様々な創意工夫を行うとともに、特に減少傾向が顕著であるヘルパー人材については、新たに職員ヘルパー制度の創設や、ヘルパーがより働きやすい就労環境等について検討、整備を進めました。

また、地域密着型サービスについては全体として厳しい運営状況が継続しましたが、地域包括ケアの要のサービスであることを鑑み、利用促進等に積極的に取り組むとともに、平成29年度から開始された介護予防・日常生活支援総合事業（以下「総合事業」という。）について、利用者の円滑な制度移行に努めるとともに、総合事業の担い手の養成にも取り組みました。

さらに、介護や看護のより一層の連携に向けた取組を推進し、障害者総合支援制度における計画相談支援事業については全行政区で対応できる体制を整備しました。

#### イ 地域の福祉・介護ニーズに応じたサービス提供を目指した取組

各事業所、施設において、サービスの利用や相談等を通じて、地域のご利用者の実態やニーズを的確に把握し、地域の関係機関等とのネットワークの構築や、ニーズに応じた質の高いサービス提供に努めました。今年度は、平成29年8月から、サービス提供事業者のない地域（市内遠隔地）の高齢者に対するサービス提供の取組として、地域包括支援センター等と連携し、花背、広河原地域へのヘルパー派遣に取り組みました。

また、社会福祉法人として求められる役割を的確に果たすため、これまで以上に部門を超えて地域における公益的な取組等を推進し、さらに多くの施設や事業所において、地域の福祉拠点としての特性を生かした生活支援、異世代交流や居場所づくり等について取り組みました。

なお、みささぎの認知症対応型通所介護事業については、安定的に事業運営を継続していくことが困難であることから、平成29年4月末をもって廃止しました。

#### ウ 子ども・子育て家庭への支援、子どもや子育て家庭を支える地域づくりに向けた取組

児童クラブ事業について、運営基準に基づき適切に運営するとともに、児童館を地域の児童健全育成及び子育て支援の拠点施設とし、それぞれの地域特性を踏まえ、地域子育て支援ステーション事業の充実等により地域住民の皆さまや関係機関等のネットワークの構築、強化を図るとともに、

乳幼児や障害のある児童，中高生も含めた幅広い対象者への支援に努めました。

また，新たな取組として，大学と連携しての子供たちに対する学習支援を実施しました。

## エ 満足度の高いサービス提供のための人材育成と人材確保に向けた取組

人材育成を法人全体の最重点課題と位置付け，専門的な研修はもとより，虐待防止やハラスメント防止など職業倫理，人権に係る研修を充実し，また，中期経営計画に基づく取組として，人材育成，資格取得支援，広報・出版及び各種事業等の機能を備えた「人材研修センター（仮称）」の設置に向けて基本方針を取りまとめました。

さらに，職員等の人材確保・定着を図るため，職員の処遇改善を積極的に行うとともに，訪問介護事業等の安定的なサービス提供にとって鍵となるヘルパーの確保と定着に向けて，職員ヘルパー制度の創設や，ヘルパー給与等を引き上げることにより，ヘルパーの離職防止に取り組みました。

加えて，公益性の高い法人として，障害のある方の雇用にも積極的に取り組み，法定雇用率（2.0%以上）を上回る2.27%を達成しました（平成29年6月1日現在）。

新たな人材の確保については，介護スタッフの求人に特化したホームページの作成や就労条件の改善等に取り組みました。また，これまで部門別で実施していた新規採用職員の採用時研修等について，一部，合同で実施し，スケールメリットの活用や法人職員としての一体感の醸成に取り組みました。

## （2）内部統制の強化，不祥事防止策の取組等

改正社会福祉法を踏まえて，調整室危機管理部を中心に，内部統制機能の一層の強化を図るなど内部管理体制の整備（別紙）に努め，会計監査人による外部監査を開始しました。

また，引き続きリスクマネジメント及びコンプライアンスの推進に取り組み，虐待等防止委員会の新たな設置や，これまでの不祥事防止策をさらに発展させた新たなリスクマネジメントガイドラインの作成に着手するとともに，内部通報制度の整備などにも取り組みました。

さらに，改正社会福祉法に基づき，役員等経営組織や経営状況などの情報を公開しました。

なお，京都市の外郭団体からの自立に備えて，本部体制の段階的な見直しに取り組み始めました。

## 2 居宅部門

平成29年度は、地域包括ケアと中重度者への対応を進める視点から、これまでの直行直帰の滞在型中心のヘルパー体制から、小地域において効率的で質の高いサービスが提供できる新たなヘルパー体系への移行に向けて議論を重ね、検証作業を行いました。また、4月から開始された介護予防・日常生活支援総合事業（以下「総合事業」という。）においては、総合事業の介護型、生活支援型、支え合い型の各ヘルプサービスの指定を受け、これまで通り軽度のご利用にも積極的に支援できる体制を整備し、対応しました。また、職員ヘルパー（在宅介護員）の創設や、生活支援サポーターの採用等、裾野を広げ新たなヘルパー人材の確保に取り組むとともに、社会福祉法人制度改革において求められる組織ガバナンスの強化及びコンプライアンスの推進や地域における公益的な取組を推進しました。

### (1) 取組状況

#### ア 中期経営計画の推進

##### (ア) 24時間365日サービス提供体制の確立

市内3カ所の夜間対応型訪問介護事業所と、各ヘルプ事務所が連携を図り、中重度の要介護者の早朝・夜間帯の定期訪問ニーズ及び随時訪問ニーズ（緊急派遣要請）に適切に応えました。

また、各ヘルプ事務所のサービス提供時間（午前7時半～午後7時）の延長及び各ヘルプ事務所とナイトケアセンターとの連携による、24時間365日のサービス提供体制の確立を目指して、職員ヘルパーの一部をナイトケアセンターを併設する南事務所に配置し、ヘルプ事務所とナイトケアセンターの役割分担等について検証を進め、段階的にヘルプ事務所とナイトケアセンターが一体的にサービス提供していけるよう準備を進めました。

##### (イ) 介護と看護の一体的サービス提供体制の確立

訪問看護ステーションばあとなあず南について、「南総合ステーション」（ヘルプ事務所、夜間対応型訪問介護事業所、訪問看護ステーションを併設）の内部事業所及び他法人、他事業所との連携を深め、医療・看護ニーズのある重度のご利用者の在宅生活を積極的に支援しました。一方で看護師の退職が重なり人員体制が安定しなかったことから、訪問看護ステーションの2カ所目の開設については、検討に至りませんでした。今後については、改めて人材の確保やニーズを見極めながら検討していきます。

また、ナイトケアセンターでは、他の夜間対応型訪問介護事業所が担っていない喀痰吸引等のニーズがあるご利用者への支援を積極的に行うことで、重度のご利用者のご家族の負担軽減に努めました。こうした看護ニーズのあるご利用者に的確に対応するため、本部事業部に配置している看護師資格を有する医療看護サポート担当が「介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修（3号研修）」受講後の評価、フォロー体制を継続して実施しました。

なお、モバイル端末（スマートフォン）を使用した連携体制については、これまで実施していた南総合ステーション及び醍醐事務所に加え、新たに西七条事務所及びナイトケアセンター山科で開始するとともに、現在の実施状況を再確認し、情報共有のツールとして職員ヘルパーを配置している全事務所への導入ができるよう準備を進めました。

##### (ウ) 「事業エリア制」の構築に向けた取組

3エリア（北エリア・南エリア・西エリア）の体制としている事業エリア制において、各エリアに配置されたエリア長を中心として、エリア内の人材・サービス・知識・技術・情報を用いて、

相互に連携・支援・共有，創意工夫しながら，地域ニーズと地域拠点の実情を踏まえたサービス提供，事業運営を行いました。また，事業計画の進捗状況についても相互に確認し，より効果的な取組となるよう意見交換しながら取組を進めました。

なお，平成30年度当初としていた4エリア体制への移行については，管理者体制の構築が計画通り進まなかったことや新たにナイトケアセンターの再編が必要になってきたこと等から，平成30年度は現在の3エリア体制を継続し，今後については，これらの状況を踏まえ，移行時期や事務所構成について，改めて検証を進め次期中期経営計画に位置付けることとしました。

### **(エ) ヘルパー等の人材確保・定着及び育成について**

平成29年度は，パート及び契約ヘルパーの給与体系について，身体介護や生活支援等のサービス内容に応じた手当体系に4月より再編し，いずれの業務に従事しても活動単価（時間給）を現状維持又は増額することにより，業務内容に応じてこれまで以上の収入が得られる仕組みとしました。また，訪問介護サービスの根幹を担うヘルパーの離職防止と新たなヘルパー人材を確保できるよう，5月に職員ヘルパーを採用し，役割や業務内容等の検証作業を行いました。

しかし，既存のパートヘルパー等の人材の減少傾向が継続しており，また新たなヘルパー体制の核となる正職員ヘルパーについては，平成29年度の採用計画が26名のところ，14名の採用に止まりました。そのため，平成30年度の下半期に向けて一定数の職員ヘルパーやパートヘルパー等（以下「職員ヘルパー等」という。）を確保することができるよう，短時間正職員ヘルパーや時間買上げ制度の導入等，職員ヘルパー等が一層働きやすくなる就労環境の整備について検討しました。

さらに，平成30年度からは，32時間契約ヘルパーの定年後再雇用の上限年齢を65歳から70歳に引き上げることとして，現状の労働力を確保し，離職を防止できるよう準備を進めました。

なお，平成29年度から開始した総合事業における京都市支え合い型ヘルプサービスの担い手の養成研修（「京都市支え合い型ヘルプサービス従事者養成研修」）については，48名を養成し，そのうち9名を生活支援サポーター（当協会における京都市支え合い型ヘルプサービスの担い手）として採用しました。

### **(オ) 総合事業について**

平成29年度より開始された総合事業について，京都市においては従来の介護予防訪問介護が介護型・生活支援型・支え合い型の3つの類型のサービスに分かれたため，全ての事業者指定を受け，ご利用者の意向を踏まえ，地域包括支援センターとも連携をとりながら円滑な移行に努めました。結果的には，介護型へ移行されたご利用者の割合は86%で，専門職としての関わりを望まれるご利用者が大半を占めました。

## **イ サービスの質の向上**

身体介護区分として位置づけられている自立支援のための見守りの援助として，適正な評価が得られるよう，アセスメント力の強化や「よくする介護」※を実践する取組を促進しました。

また，各事業所や地域の実情を踏まえ，外部の専門家の講師を招いての研修を実施し，介護技術や相談支援のスキルアップを図りました。障害者総合支援制度では，これまで一部の事務所で配置していた障害者相談支援専門員（介護保険制度におけるケアマネジャーに相当）について，全事務

所で選任，配置し，ご利用者に対する計画相談支援の体制を強化しました。

※ ICF（国際生活機能分類）の考え方にに基づき，障害を様々な角度で捉え，ご利用者の「できない」を「できる」にポジティブに改善していく取組。

## ウ 経営安定に係る取組

平成29年度は，収支改善に向けた5ヵ年取組計画を策定し，改善目標を定め，自立支援の推進やヘルパーの稼働効率化に向けた取組を進めました。収益状況の改善については，訪問介護（介護保険）における身体介護の比率の向上に向けて，自立支援のための見守りの援助についての取組を促進した結果，身体介護比率は約3%アップしました。しかし，ヘルパー労働力の減少は継続しており，全体のご利用者実績は低下し減収となりました。

新たなヘルパー人材確保とヘルパーの離職防止については，給与条件等を含めた処遇改善を図るとともに，報酬単価の高い身体介護にもこれまで以上に的確に対応ができるよう，正職員ヘルパーを創設しました。正職員ヘルパー業務が事業収益性の確保につながる起点になることは一定明らかとなりましたが，パートヘルパーの中重度者対応が拡大しなければ，恒常的な収益効果は見込めないため，パートヘルパーの人材確保，及び中重度対応のための資質の確保等について，今後さらに取組を強化していきます。

## エ リスクマネジメントの強化及びコンプライアンスの推進

引き続き平成25年度末に策定した『信頼回復と法人再生のために』に基づき，不祥事再発防止策の徹底やコンプライアンス推進等に係る研修の充実等に取り組みました。また，直行直帰型のヘルパーについて，ヘルパーからの相談に対する適切な対応と所属意識を醸成すること等を目的として，平成27年度下半期より全事務所ですべて的行的に取り組みできたヘルパーの事務所出勤制度について，カンファレンスへの出席，チーム内の情報共有，記録の記載，予定確認等の業務要素の割合を高めることを目的として，業務内容や業務量に応じて事務所に勤務させる制度の検討を進めました。

## オ 地域における公益的な取組等

社会福祉法人制度改革において求められる地域における公益的な取組等について，中期経営計画に基づき着実に対応できるよう以下の取組を進めました。

- (ア) 人材開発部では，施設部や事務所と連携しながら「高校生のための介護初級講座」として，受講を希望された高校や，高校生がボランティア活動している施設に出向き，無料で出張講座を実施しました。
- (イ) 高野事務所では，毎月1回，認知症カフェを開催し，認知症の方と一緒にお菓子作りや手芸をしたり，福祉の専門職がご家族からの相談にも対応しました。
- (ウ) 南事務所では，地域の高齢者を対象に，関係機関等と連携し，ラジオ体操の定期開催（週2回）及び体操終了後の看護師による健康相談（不定期）を実施しました。
- (エ) ヘルパー貸与携帯電話を活用した認知症等による徘徊時の捜索協力について，協会のご利用者を中心に利用登録者を拡大しました。
- (オ) 高野事務所では，平成29年8月より，遠隔地（花背，広河原）にお住まいの高齢者を対象にヘルパー派遣を開始しました。

## (2) 事業別の主な実績

### ア 訪問介護事業

#### (ア) ご利用者数

ご利用者総数は6,092人で、前年度末から349人減となっており、障害者福祉サービスご利用者数は1,008人で、前年度末から42人減となっています。

○ご利用者数（各年度末実績）

（単位：人）

		29年度	28年度	27年度	前年度比率 (%)
ご利用者総数		6,092	6,441	6,771	94.6
介護保険分		3,619	5,378	5,660	67.3
総合事業分	介護型	1,267			
	生活支援型	196			
	支え合い型	2			
障害者総合支援分		1,008	1,050	1,092	96.0
措置受託分			13	19	
市内におけるサービスシェア率 (介護保険分)		24.3	25.4	25.8	

※介護保険分について、平成29年度から要支援1及び2のご利用者は総合事業分の欄に記載。

#### (イ) ヘルパー体制

平成29年度のヘルパー体制については、新規採用ヘルパー数が60人と前年度と比較して8人増加し、退職ヘルパー数は16人減少しているものの、ヘルパー総数は1,515人と前年度と比較して77人、4.8%減となり、減少傾向は継続しています。

引き続き広報、採用方法の見直し等についての取組を進めるとともに、平成29年度から開始した、新たなヘルパー体制の構築において、ヘルパーがやりがいを保ち安心して働ける体制とご利用者ニーズに応じた供給量と質の確保を目指し、体制整備を進めます。

## ○ヘルパー数

(単位：人)

	29年度	28年度	27年度	前年度比率 (%)
ヘルパー総数	1,515	1,592	1,693	95.2%
契約ヘルパー	408	449	457	90.9%
35時間契約ヘルパー	39	41	41	95.1%
32時間契約ヘルパー	302	316	327	95.6%
10時間契約ヘルパー	67	92	89	72.8%
パートヘルパー	1,096	1,143	1,228	95.9%
期間パートヘルパー			8	
生活支援サポーター	11			
新規採用ヘルパー	60	52	105	115.4%
うち養成ヘルパー採用	14	28	37	50.0%
退職ヘルパー	137	153	186	89.5%

## (ウ) 訪問介護(介護保険) 請求実績及びサービス区分比率

請求実績については、訪問介護の一部が総合事業へ移行したほか、重度ご利用者の入院や入所等による中止、廃止の増加が継続しており、請求件数、訪問回数ともに減少したことで、月平均の介護報酬額は、195,364,630と前年度から9%の減となりました。

サービス区分別比率については、生活援助、予防の比率が減少し、身体介護+生活援助、身体介護の比率が増加しています。

## ○介護保険請求実績(月平均請求データ)

	請求件数 (人)	訪問回数 (回)	介護報酬額(円)	件数単価 (円)	回数単価 (円)
29年度	4,327名	51,075回	195,364,630円	45,150円	3,825円
28年度	5,451名	62,154回	215,429,379円	39,521円	3,466円
27年度	5,672名	65,841回	227,419,234円	40,095円	3,454円

## ○総合事業請求実績(年度末実績)

	請求件数 (人)	訪問回数 (回)	介護報酬額(円)	件数単価 (円)	回数単価 (円)
29年度	1,452名	8,427回	27,058,257円	18,635円	3,210円

## ○サービス区分別比率(各年度末実績)

(単位：%)

サービス区分	身体介護	身体介護+生活援助	生活援助	総合事業	計
29年度	32.1	23.9	29.2	14.8	100.0
28年度	28.8	18.9	35.8	(予防) 16.5	100.0
27年度	25.8	16.4	40.5	(予防) 17.3	100.0

**(エ) 訪問介護（介護給付）及び介護予防訪問介護（予防給付）ご利用者の要介護度分布**

要介護度分布については、要介護3以上の比率が若干増加しています。

平成29年度は、要支援の件数が1,453人と、前年度と比較して249人減少しています。

○訪問介護（介護給付）要介護度分布（国保連請求3月実績）

（単位：人）

事務所名	年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
北事務所	29年度	125	154	76	56	28	439
	28年度	111	161	96	41	30	439
小川事務所	29年度	95	101	68	30	29	323
	28年度	80	109	58	34	33	314
高野事務所	29年度	134	163	89	38	40	464
	28年度	125	161	78	41	32	437
本能事務所	29年度	45	70	45	12	18	190
	28年度	48	86	38	10	13	195
朱雀事務所	29年度	36	46	18	19	14	133
	28年度	45	45	17	12	13	132
東山事務所	29年度	30	68	41	13	9	161
	28年度	31	60	35	16	9	151
山科事務所	29年度	77	85	49	19	29	259
	28年度	74	86	48	17	25	250
西七条事務所	29年度	47	50	45	17	19	178
	28年度	39	74	31	18	23	185
南事務所	29年度	58	108	38	31	21	256
	28年度	53	113	38	30	30	264
太秦事務所	29年度	61	95	42	40	29	267
	28年度	67	107	48	40	26	288
西京事務所	29年度	105	120	44	37	24	330
	28年度	89	135	44	27	24	319
伏見事務所	29年度	102	168	69	38	26	403
	28年度	114	165	73	42	33	427
醍醐事務所	29年度	39	64	35	13	20	171
	28年度	42	68	29	18	18	175
計	29年度	954	1,292	659	363	306	3,574
	28年度	918	1,370	633	346	309	3,576
比率（%） （人数/全ご利用者数）	29年度	19.0	25.7	13.1	7.2	6.1	71.1
	28年度	17.4	25.9	12.0	6.5	5.8	67.6

## ○総合事業（予防給付）要介護度分布（国保連請求3月実績）

（単位：人）

事務所名	年度	要支援1	要支援2	事業 対象者 (注)	計	総計 (予防給付 含)	予防割合 (%)
北事務所	29年度	86	120	4	210	649	31.7
	28年度	105	130	-	235	674	34.9
小川事務所	29年度	43	56	2	101	424	23.3
	28年度	65	66	-	131	445	29.4
高野事務所	29年度	118	144	3	265	729	35.9
	28年度	134	144	-	278	715	38.9
本能事務所	29年度	21	59	0	80	270	29.6
	28年度	28	60	-	88	283	31.1
朱雀事務所	29年度	11	36	5	52	185	25.4
	28年度	17	50	-	67	199	33.7
東山事務所	29年度	34	57	3	94	255	35.7
	28年度	47	60	-	107	258	41.5
山科事務所	29年度	16	55	3	74	333	21.3
	28年度	30	78	-	108	358	30.2
西七条事務所	29年度	24	38	2	64	242	25.6
	28年度	22	41	-	63	248	25.4
南事務所	29年度	18	58	3	79	335	22.7
	28年度	36	75	-	111	375	29.6
太秦事務所	29年度	39	84	2	125	392	31.4
	28年度	43	102	-	145	433	33.5
西京事務所	29年度	40	50	1	91	421	21.4
	28年度	49	65	-	114	433	26.3
伏見事務所	29年度	56	122	0	178	581	30.6
	28年度	74	144	-	218	645	33.8
醍醐事務所	29年度	9	31	0	40	211	19.0
	28年度	12	37	-	49	224	21.9
計	29年度	515	910	28	1,453	5,027	28.9
	28年度	662	1,052	-	1,714	5,290	32.4
比率 (%) (人数/全ご利用者 数)	29年度	10.2	18.1	0.6	28.9		
	28年度	12.5	19.9	-	32.4		

(注) 事業対象者とは、高齢サポート（地域包括支援センター）又は区役所・支所窓口で実施する「基本チェックリスト」によって基準に該当し、届出をされた方です（65歳以上の方のみ）。

### (オ) 夜間対応型訪問介護

夜間対応型訪問介護については、3センターを合わせた実ご利用者数が416人と、前年同期と比較して40人の増、随時訪問回数、定期巡回回数の合計は2,174回と、前年同期と比較して275回の増回となっています。

#### ○国保連請求3月実績

			29年度	28年度
実利用者数 (人)	小川	随時訪問	169	148
		定期巡回及び随時訪問	38	36
		総数	207	184
	南	随時訪問	99	93
		定期巡回及び随時訪問	19	21
		総数	118	114
	山科	随時訪問	72	63
		定期巡回及び随時訪問	19	15
		総数	91	78
	合計	随時訪問	340	304
		定期巡回及び随時訪問	76	72
		総数	416	376
通報状況 (件)	小川	通報件数	231	668
	南	通報件数	298	192
	山科	通報件数	516	57
	合計	総数	1,045	917
サービス 状況(回)	小川	随時訪問回数	133	139
		定期巡回回数	893	695
	南	随時訪問回数	69	59
		定期巡回回数	525	499
	山科	随時訪問回数	106	45
		定期巡回回数	448	462
	合計	随時訪問回数	308	243
		定期巡回回数	1,866	1,656
		総数	2,174	1,899

### (カ) 私的契約サービス(ほのぼのサービス)

○私的契約サービスご利用者数(3月実績)

(単位:人)

	29年度	28年度	27年度
ほのぼのサービス	310	341	378

**(キ) 育児支援ヘルプ事業**

育児支援ヘルプ事業について、ご利用者数は320人と前年度より40人増加しています。

○行政区別派遣数

(単位：人)

行政区	29年度			28年度		
	育児支援ヘルパー派遣事業	第三子以降産前産後ヘルパー派遣事業	合計	育児支援ヘルパー派遣事業	第三子以降産前産後ヘルパー派遣事業	合計
北区	19	7	26	25	4	29
上京区	7	5	12	5	8	13
左京区	28	20	48	22	9	31
中京区	24	11	35	18	17	35
東山区	6	1	7	3	5	8
山科区	15	6	21	9	3	12
下京区	3	5	8	14	4	18
南区	12	7	19	12	4	16
右京区	33	10	43	42	8	50
西京区	26	10	36	20	5	25
洛西	10	3	13	9	0	9
伏見区	22	9	31	17	6	23
深草	11	1	12	4	3	7
醍醐	7	2	9	2	2	4
合計	223	97	320	202	78	280
1ヵ月平均	18.6	8.1	26.7	16.8	6.5	23.3

○育児支援ヘルパー登録者数 (各年度末)

	29年度	28年度
登録ヘルパー数 (人)	40	31

**イ 居宅介護支援 (ケアマネジメント)**

**(ア) 事業所別給付管理件数**

居宅介護支援の平成29年度末給付管理件数は、3,389人となり、前年度末の3,324人から65人、約2%の増となりました。

○給付管理件数（国保連請求 3 月実績）

（単位：人）

事業所名	担当区	29年度	28年度	27年度	前年度比率 (%)
北事務所	北区	246	250	259	98.4
小川事務所	上京区	341	327	356	104.3
高野事務所	左京区	467	463	498	100.9
本能事務所	中京区	248	248	250	100.0
朱雀事務所	中京区	215	219	210	98.2
東山事務所	東山区	167	154	153	108.4
山科事務所	山科区	276	282	297	97.9
西七条事務所	下京区	186	187	157	99.5
南事務所	南区	171	180	178	95.0
太秦事務所	右京区	315	307	342	102.6
西京事務所	西京区・洛西	250	209	214	119.6
伏見事務所	伏見区・深草	299	303	328	98.7
醍醐事務所	醍醐	208	195	207	106.7
計		3,389	3,324	3,449	102.0

### (イ) 事業所別要介護度及び要支援度分布

要介護度分布については、ほぼ前年度並みの比率となっています。

○要介護度分布（国保連請求3月実績）

（単位：人）

事務所名	年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
北事務所	29年度	79	94	36	25	12	246
	28年度	77	95	41	24	13	250
小川事務所	29年度	114	119	61	27	20	341
	28年度	102	109	64	24	28	327
高野事務所	29年度	141	170	92	36	28	467
	28年度	149	173	76	41	24	463
本能事務所	29年度	53	107	55	19	14	248
	28年度	58	101	48	26	15	248
朱雀事務所	29年度	68	76	33	27	11	215
	28年度	78	65	44	23	9	219
東山事務所	29年度	47	67	30	15	8	167
	28年度	40	65	28	17	4	154
山科事務所	29年度	67	97	71	21	20	276
	28年度	71	96	70	23	22	282
西七条事務所	29年度	50	79	34	10	13	186
	28年度	61	73	28	10	15	187
南事務所	29年度	53	59	27	21	11	171
	28年度	47	63	32	22	16	180
太秦事務所	29年度	93	106	54	42	20	315
	28年度	69	122	55	40	21	307
西京事務所	29年度	83	99	39	15	14	250
	28年度	65	82	38	12	12	209
伏見事務所	29年度	79	108	51	34	27	299
	28年度	82	104	54	36	27	303
醍醐事務所	29年度	52	90	36	10	20	208
	28年度	49	79	35	15	17	195
計	29年度	979	1271	619	302	218	3,389
	28年度	948	1227	613	313	223	3,324
比率（%） （人数/全ご利用者 数）	29年度	28.9	37.5	18.3	8.9	6.4	100.0
	28年度	28.5	37.0	18.4	9.4	6.7	100.0

○要支援度分布（国保連請求3月実績）

（単位：人）

事務所名	年度	要支援1	要支援2	計
北事務所	29年度	1	3	4
	28年度	2	3	5
小川事務所	29年度	0	0	0
	28年度	0	0	0
高野事務所	29年度	8	3	11
	28年度	7	6	13
本能事務所	29年度	3	4	7
	28年度	1	8	9
朱雀事務所	29年度	1	2	3
	28年度	1	4	5
東山事務所	29年度	0	0	0
	28年度	0	0	0
山科事務所	29年度	4	17	21
	28年度	2	16	18
西七条事務所	29年度	7	11	18
	28年度	5	10	15
南事務所	29年度	0	5	5
	28年度	0	7	7
太秦事務所	29年度	1	4	5
	28年度	0	4	4
西京事務所	29年度	0	0	0
	28年度	0	0	0
伏見事務所	29年度	7	9	16
	28年度	6	8	14
醍醐事務所	29年度	2	7	9
	28年度	2	4	6
計	29年度	34	65	99
	28年度	26	70	96
比率（%）	29年度	34.3	65.7	100.0
	28年度	27.1	72.9	100.0

### (ウ) 要介護認定・要支援認定調査事業

○要介護認定・要支援認定調査事業（年度末実績）

（単位：人）

事務所名	調査数			月平均調査数	
	29年度	28年度	前年度比率 (%)	29年度	28年度
北事務所	472	373	126.5	39	31
小川事務所	312	301	103.7	26	25
高野事務所	538	840	64.0	45	70
本能事務所	131	135	97.0	11	11
朱雀事務所	228	208	109.6	19	17
東山事務所	301	257	117.1	25	21
山科事務所	741	680	109.0	62	57
西七条事務所	251	342	73.4	21	29
南事務所	123	89	138.2	10	7
太秦事務所	666	597	111.6	56	49
西京事務所	—	—	—	—	—
伏見事務所	302	308	98.1	25	26
醍醐事務所	255	212	120.3	21	18
計	4,320	4,342	99.5	360	361

### ウ 訪問看護

○ご利用者数（3月実績）

（単位：人）

	29年度	28年度	前年度比率 (%)
ぱあとなあず南	23	22	104.5

### エ 養成研修等

○介護職員初任者研修

	29年度	28年度	27年度	前年度比率 (%)
修了者数 (人)	66	89	165	74.2
うち協会採用数 (人)	7	16	39	43.8
協会採用率 (%)	10.6	18.0	19.4	58.9

○介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修（第三号研修）

	29年度	28年度	27年度	前年度比率 (%)
修了者数（人）	657	522	354	125.9
（うち実地研修のみ）	(550)	(395)	(282)	(139.2)
協会従業員（人）	295	205	173	143.9
（うち実地研修のみ）	(267)	(168)	(107)	(158.9)
他法人介護職等（人）	362	317	129	114.2
（うち実地研修のみ）	(283)	(227)	(27)	(124.7)

○介護福祉士実務者研修

	29年度	28年度	27年度	前年度比率 (%)
受講者数（人）	60	74	28	81.1
修了者数（人）	65	71	27	91.5
協会従業員（人）	56	59	19	94.9

○京都市支え合い型ヘルプサービス従事者養成研修（29年4月開講）

	29年度
修了者数（人）	48
うち協会採用数 （人）	9
協会採用率 （%）	18.8

### 3 施設部門

施設部門においては、平成29年度から京都市の指定管理者として引き続き管理運営をすることとなった4施設（小川、本能、修徳、西院）及び協会独自に設置している4施設（紫野、西七条、塔南の園、久我の杜）の8施設を拠点として、各施設が保有する機能と特徴を生かし、地域住民の皆さまとの連携、交流を図りながら多様なサービスを展開するとともに、職員のスキルアップを図り、ご利用者に対し満足度の高いサービスを提供し、ご利用者やご家族、地域から信頼される施設運営を推進しました。

#### (1) 取組状況

##### ア 中期経営計画の推進

###### (ア) 地域包括ケア推進のための取組

地域包括ケアシステムの中核機関と位置付けられている6か所の地域包括支援センター（紫野、小川、本能、修徳、西院、久我の杜）では、京都市から委託を受け重要取組事項である「地域におけるネットワークの構築・支援」、「介護予防事業の推進」、「権利擁護に関する連携・支援」などに取り組み、地域の相談窓口として高齢者を包括的に支える役割を果たしました。

また、地域介護予防推進センター（小川）では、上京区域の高齢者の方が介護を必要とせずについていつまでも元気で暮らせるよう、介護予防に関する普及啓発や、地域での自主的な介護予防に関する活動の支援など、地域における介護予防の拠点として京都市からの受託業務を行いました。

###### (イ) 地域密着型サービスの充実に向けた施設整備

地域密着型サービスのひとつである小規模多機能型居宅介護事業は、稼働率の安定や人材の確保に苦慮し、安定した収益の確保が困難な状況となりました。引き続き、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、病院や地域などにPRを行い、安定した事業運営を目指します。

このような状況の中、桂坂に続く新たな施設整備については、「小規模多機能型居宅介護事業」「認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム）」「地域密着型特別養護老人ホーム」の事業実施について、平成29年度中に実施時期等を検討する予定としていましたが、近年の介護人材の確保が困難な状況や土地・建設費の高騰等社会的情勢も踏まえながら、次期中期経営計画期間において、整備時期等も含め検討します。

###### (ウ) 職員の人材確保・定着及び育成

人材確保においては、介護系の学部閉鎖や福祉系の学生の減少に伴い、新卒者の確保に苦慮している状況にあるため、若手職員を前面に押し出し、就職フェアでの一般学部の学生及び内定者へのフォローも含めた取組を行いました。

中途採用者に対しても、資格取得に向けての優遇措置や、職員の紹介により採用された場合に紹介手当を支給する職員紹介制度を実施するなど、人材確保に努めました。

また、職員の年次有給休暇の初年度付与数の見直し（4月採用12日へ）やリフレッシュ休暇の公休化（年間公休数116日へ）など、より魅力のある職場とするための待遇改善の検討を行うとともに、介護職員については、新たに平成29年4月から追加された介護職員処遇改善加算（I）の取得を行う等の処遇の改善を図り、安定した雇用及び離職防止に努めました。

各施設で行っている実習生の受入れについては、社会福祉士現場実習や介護福祉士実習などの専門的な実習を初め、チャレンジ体験やインターンシップの現場体験など、実人数386名（延べ人数3,402名）の実習生の受入れを行いました。

## **(エ) 既存施設の老朽化等にもなう整備**

既存施設の老朽化等による修繕等整備については、小規模多機能施設でのスプリンクラーの設置義務化を受け、地域密着の3施設（おがわ、みささぎ、山ノ内）について、京都市の補助を受けスプリンクラーの設置を行いました。

また、指定管理施設（小川、修徳、西院）について、平成29年度から制度化された京都市納付金（減価償却部分の一部、31,390千円）を納付しました。

## **(オ) 土地購入の取組**

協会独自に設置している施設のうち、西七条及び久我の杜の土地は、京都市が所有しておりますが、西七条の土地について、今後の事業展開や収支状況等も鑑みながら引き続き、関係機関との協議を継続します。

（参考）平成29年度西七条の土地賃貸料：5,900,754円

西七条の面積：1,632.27㎡

## **(カ) 介護予防・日常生活支援総合事業の取組**

総合事業において、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、デイサービスセンターによる介護予防・生活支援サービス事業、地域包括支援センターによる介護予防ケアマネジメント、地域介護予防推進センターによる一般介護予防事業などを推進するなど、高齢者の介護予防と日常生活の自立に向けた支援を行いました。

## **イ リスクマネジメントの強化及びコンプライアンスの推進**

### **(ア) 風通しの良い職場づくり**

正職員はもちろん契約職員に対しても年1回以上直属の上司や管理職等によるヒアリングを実施し、業務状況や心身の状況を把握するとともに、相談しやすい関係づくりに努めました。

### **(イ) 人員配置の適正化**

人材確保が困難な状況のなか、職員の効率的な配置が求められるため、一部の施設において、より効率的、安定的なサービスの提供を行うため、職員配置をフロア単位に見直しました。

また、退職に伴い職員配置が安定しない状況で、計画的な定期異動ができていませんが、今後は、できるだけ定期的な異動に取り組むとともに、不祥事が起こりにくい環境を整備します。

### **(ウ) 倫理観の醸成**

高齢者虐待や不適切支援を防止するため、当法人所属の弁護士により、各施設において所属職員全員が受講できる研修を実施しました。欠席者にはビデオ録画による受講を行いました。

また、職員の言葉遣いや身だしなみについて、職員一人ひとりがチェックできるよう、チェックシートを作成し、職員の意識の向上に取り組みました。

## **ウ 地域における公益的な取組等**

一人暮らしの高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、低廉な住まいの確保と職員による見守りや生活支援サービス等を提供する「京都市高齢者すまい・生活支援事業」に、紫野（北区）と久我の杜（伏見区）において継続して取り組みました。

各施設で取組んでいる認知症カフェやコミュニティ・カフェ、ふれあい食堂、高校生対象の介

護初級講座や地域向けのセミナー等については、公益的な取組等として他部門と連携し、積極的に取り組みました。特に、平成29年度においては、本能と小川において、地域の高齢者等の孤食解消を目的とした食堂を開始しました。

久我の杜では、地域の夏祭りや防災訓練、見守パトロールなどの地域活動に職員が協力し、地域コミュニティの活性化に貢献した「きょうと地域力アップ貢献事業者」として京都市から表彰されました。

また、認知症になっても暮らしやすい地域づくりを目指す全国的な取組である「RUN伴<sup>とも</sup>」について、多くの事業所が参加しました。

## (2) 事業別の主な取組内容

### ア 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

アセスメントシートの見直しや24時間シート（ご入居者の1日の生活について、ご本人のこだわりや支援内容を一覧表にまとめたシート）の活用などにより作成した施設サービス計画書に基づいたサービスの提供を徹底するとともに、サービスの評価と見直しを随時行い、ご利用者の特性に合わせた個別ケアを推進して、自分らしい生活が実現できるよう支援しました。

特養は、ご入居者の生活の場であることを認識し、一人ひとりの人権を尊重し、常に研修などにより質の向上に努め、一人ひとりの心身の状態に応じた安心・安全で快適な支援をしました。重度化への対応として、多職種協働によるサービスを提供し、嘱託医等の協力を得ながら看取りケアを積極的に取り組みました。

口腔ケアもご利用者の疾病予防や生活の質の向上を図る上で重要であり、歯科医師や歯科衛生士と連携を図りながら、口腔ケアの充実を図りました。

#### ○入居者の状況

##### ①利用定員と利用状況（平成29年度）

区分	紫野	小川	本能	修徳	西七条	塔南の園	合計
入居定員（人）	60	70	90	80	50	70	420
3月末ご入居者数（人）	58	69	90	79	50(1)	71(1)	417(2)
実利用人員（人）	72	84	113	97	56(1)	98(1)	520(2)
延べ利用人員（人）	21,014	24,181	30,675	28,259	17,453	23,878	145,460
利用率（%）	96.0	94.6	93.4	96.8	95.6	93.5	94.9
入院等含む利用率（%）	96.3	98.4	99.8	98.8	98.6	99.0	
29年度計画利用率（%）	95.0	95.0	93.6	95.0	94.0	94.0	
28年度延べ利用人員（人）	20,672	23,585	30,705	28,424	17,316	23,028	143,730
28年度利用率（%）	94.4	92.3	93.4	97.3	94.9	90.1	93.8
入院等含む利用率（28年度）	95.8	94.0	99.5	99.7	99.7	96.5	

※（ ）は措置入所者で内数

②入居・退居の状況（平成29年度）

（単位：人）

入居者状況		紫野	小川	本能	修徳	西七条	塔南の園	合計
入居者状況	在宅	6	4	9	4	2	11	36
	他施設	9	8	11	9	3	17	57
	病院	0	4	3	7	0	5(1)	19(1)
	その他	0	1	0	0	0	0	1
	ご入居者数 (計)	15	17	23	20	5	33(1)	113(1)
退居者状況	在宅	0	0	0	0	0	0	0
	他施設	0	0	0	0	0	3	3
	長期入院	0	3	8	4	0	0	15
	死亡	14	12	15	14	6	24	85
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	退居者数 (計)	14	15	23	18	6	27	103

③入居期間の状況（平成30年3月末現在）

（単位：人）

	1年未満	1～3年	3～5年	5～10年	10年以上	計	平均入居期間
紫野	13	19	12	14	0	58	3年3ヶ月
小川	16	25	11	10	7	69	4年1ヶ月
本能	21	28	14	15	12	90	4年1ヶ月
修徳	20	17	20	18	4	79	4年4ヶ月
西七条	5	14(1)	7	13	11	50(1)	6年8ヶ月
塔南の園	29(1)	20	6	15	1	71(1)	2年7ヶ月

※（ ）は措置入所者で内数

## ④性別・年齢別の状況（平成30年3月末現在）

（単位：人）

区分		50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計	平均年齢
紫野	男性	0	0	0	7	5	0	12	88.4歳
	女性	0	0	0	21	21	4	46	90.6歳
	合計	0	0	0	28	26	4	58	90.2歳
小川	男性	0	3	3	9	2	0	17	81.3歳
	女性	0	0	3	19	29	1	52	90.1歳
	合計	0	3	6	28	31	1	69	88.4歳
本能	男性	0	3	3	11	6	0	23	82.1歳
	女性	0	2	4	26	27	8	67	90.7歳
	合計	0	5	7	37	33	8	90	88.8歳
修徳	男性	0	0	1	10	3	0	14	85.6歳
	女性	0	1	8	25	26	5	65	89.3歳
	合計	0	1	9	35	29	5	79	88.7歳
西七条	男性	0	2	4	6	1	0	13	79.5歳
	女性	0	1	4	18	10(1)	4	37(1)	88.4歳
	合計	0	3	8	24	11(1)	4	50(1)	86.1歳
塔南の園	男性	0	0	6	8	0	0	14	79.4歳
	女性	0	0	5(1)	22	25	5	57	89.6歳
	合計	0	0	11(1)	30	25	5	71	87.6歳
合計	男性	0	8	17	51	17	0	93	
	女性	0	4	24(1)	131	138(1)	27	324(2)	
	合計	0	12	41(1)	182	155(1)	27	417(2)	

※（ ）は措置入所者で内数

## ⑤要介護度別利用状況（平成30年3月末現在）

（単位：人）

区分	要介護						平均 介護度	29年3月末 平均介護度
	1	2	3	4	5	計		
紫野	0	0	8	18	32	58	4.41	4.25
小川	0	2	13	22	32	69	4.22	4.08
本能	0	2	14	39	35	90	4.19	4.18
修徳	0	0	6	41	32	79	4.32	4.25
西七条	0	1	9	17(1)	23	50(1)	4.22	4.29
塔南の園	0	0	15(1)	23	33	71(1)	4.32	4.22
合計	0	5	65(1)	160(1)	187	417(2)	4.27	4.20
全体割合(%)	0	1.2	15.6	38.4	44.8	100		

※（ ）は措置入所者で内数

⑥特別養護老人ホームでの看取り件数について（平成29年度）

（単位：人）

施設名		紫野	小川	本能	修徳	西七条	塔南の園	合計
入居定員		60	70	90	80	50	70	420
死亡による 退居者数（A）	29年度	14	12	15	14	6	24	85
	28年度	15	18	14	9	9	29	94
施設での看 取り件数（B）	29年度	14	4	9	9	1	12	49
	28年度	13	8	6	7	2	0	36
割合 （B/A）	29年度	100%	33.3%	60.0%	64.3%	16.7%	50.0%	57.6%
	28年度	86.7%	44.4%	42.9%	77.8%	22.2%	0%	38.3%

○各施設が実施した主な行事 <特養>

月	各施設が実施した行事の内容等
4月	お花見ドライブ、夜桜鑑賞、堀川さくら祭り、懇茶会、二条城ライトアップ見学、鯉のぼりお披露目
5月	家族懇談会及び家族会、開設記念祭、菖蒲湯、母の日のお祝い、
6月	家族会、デザートバイキング、蕎麦打ち実演、散歩レクリエーション、家族会大掃除、父の日のお祝い
7月	夏祭り、入居者健康診断、祇園祭山鉦見学、おやつ作り
8月	五山送り火鑑賞、卒塔婆供養、夏祭り、盆踊り、入居者歯科検診、学区納涼ボーリング大会、地藏盆
9月	敬老祝賀会、ご入居者歯科検診、スカイフェスティバル、家族懇談会、入居者健康診断
10月	植物園外出、動物園外出、水族館外出、コンサート外出、出前（寿司）、学区体育祭参加、防災訓練
11月	ボランティア交流会、地域自主防災訓練、紅葉狩り、インフルエンザ予防接種、グランドアートミュージアム
12月	忘年会、クリスマス会、餅つき、ゆず湯、大根焼き、家族会大掃除、寄席、メイクボランティア、
1月	初詣、外食（カニ）、買い物外出、入居者歯科検診、互礼会
2月	豆まき、カニを楽しむ会、ホテルの幼虫放流、おでんパーティ
3月	幼稚園卒園式、ひな祭りケア自慢大会、ボランティア交流会、防災訓練

イ ショートステイ（短期入所生活介護事業）

在宅高齢者であるご利用者のご家庭での状況等を理解し、住み慣れた自宅で少しでも長く暮らしていただけるようアセスメントの充実を図り、ご利用者に応じたサービスを提供しました。

また、満足度調査を実施し、その結果を分析、サービス提供に反映させていくとともに、居宅介護支援事業所とも連携を図り、リピーターの継続利用や新規のご利用者を増やすとともに、特養ご入居者の入院等による空床の活用も積極的に行い、在宅生活を支援しました。

## ○利用定員と利用状況（平成29年度）

※利用率は空床利用分を含む

区分	紫野	小川	本能	修徳	西七条	塔南の園	合計
利用定員（人）	空床利用型	30	10	20	10	16	86
実利用人員（人）	12	179	107	168	59	155	680
延べ利用人員（人）	541	10,144	4,200	8,338	4,111	6,685	34,019
利用率（%）		93.6	158.0	114.2	112.6	114.5	108.4
29年度計画利用率（%）		101.0	142.5	120.0	120.0	119.4	
28年度延べ利用人数（人）	732	11,160	5,698	8,468	4,406	7,304	37,768
28年度利用率（%）		101.9	156.1	116.0	120.7	125.1	120.3

## &lt;上記のうち介護予防での利用状況&gt;

区分	紫野	小川	本能	修徳	西七条	塔南の園	合計
実利用人員（人）	0	2	0	2	0	0	4
延べ利用日数（日）	0	49	0	57	0	0	106

## ウ 老人デイサービスセンター（通所介護事業）

## （ア）老人デイサービスセンター

ご利用者の有する能力と可能性を引き出し、在宅生活がいきいきと張りのある豊かな毎日となるよう身体面・精神面・社会参加面等の側面から支援しました。

全体的には稼働率が下がる中、経営の安定を図るため、アンケート調査などによりニーズの把握、レクリエーションの内容の充実、また、居宅介護支援事業所を定期的に訪問し施設のPRを行うなどの取組を行ってきましたが、結果として厳しい状況となりました。

また、総合事業に関しては、介護予防のご利用者に対して大きな混乱もなくスムーズに移行することができました。

## ○利用定員と利用状況（平成29年度）

（単位：人）

	紫野	小川	本能	修徳	西七条	塔南の園	西院	久我の社	合計
利用定員	40	30	35	30	30	35	35	30	265
営業日数	365	365	365	365	365	365	365	365	
登録者数	122	115	136	122	110	114	159	82	960
1日平均利用人員	33.9	24.07	29.6	25.4	25.02	25.8	28.6	22.0	26.8
延利用人員	12,385	8,786	10,782	9,272	9,133	9,448	10,447	8,020	78,273
利用率（%）	84.8	80.2	84.4	84.6	83.4	73.9	81.8	73.2	80.9
29年度計画利用率（%）	82.0	90.0	84.6	87.7	84.0	85.0	89.0	82.0	
28年度延利用人員（人）	11,662	9,362	10,866	9,565	9,480	9,976	11,055	8,737	80,703
28年度利用率（%）	79.9	85.5	85.1	87.4	86.6	78.1	86.5	79.8	83.4

<上記のうち介護予防型での利用状況>

(単位：人)

区分	紫野	小川	本能	修徳	西七条	塔南の園	西院	久我の杜	合計
登録者数	14	12	9	11	8	7	17	16	94
1日平均利用人員	2.6	1.8	1.8	1.4	1.4	1.0	2.4	4.7	

○各施設が実施した主な行事 <デイサービス>

	各施設が実施した行事の内容等
4月	花見ドライブ、映画会、卓球バレー、お茶会、ゲーム大会、藤棚見学、園芸
5月	卓球バレー、カラオケ交流、映画会、つつじ見学、新緑ドライブ、演劇ワークショップ、葵祭見学、園芸、公園散策
6月	買物ツアー、ペタンク交流会、映画会、里の駅(大原)外出、水無月作り、お茶会、個別外出、歯科検診
7月	祇園祭外出、家族交流会・個別相談会、映画会、七夕飾り作り、個別外出、吹奏楽コンサート、料理選手権
8月	児童館交流、夏祭り、映画会、大衆演劇鑑賞・昼食会、夏祭り、マジックボランティア、個別外出
9月	作品展参加、映画会、敬老祝賀会、卓球バレー交流試合、個別外出、昼食外食、植物園外出
10月	卓球バレー大会、映画会、RUN 伴、工作レクリエーション、ペタンク、料理を作ろうゲーム、運動会、防災訓練、時代祭り外出
11月	小学校交流、紅葉外出、家族懇談会、ピアノ鑑賞、日本舞踊・マジック鑑賞、運動会、口腔ケア週間、音楽祭、外食レクリエーション、京都観光ドライブ、ランドアートミュージアム
12月	イルミネーション見学、農園収穫、餅つき、フルート演奏会、クリスマス会、クリスマスケーキ作り、忘年会、ゆず湯
1月	書初め、初釜、獅子舞、初詣、映画会、新年会、巻き寿司作り、七草粥作り 大衆演劇外出
2月	豆まき、吹奏楽鑑賞、映画会、DVD 鑑賞&昼食会、家族懇談会、バレンタインおやつ作り、ケア自慢大会見学、スイーツバイキング、京都マラソン見物
3月	ひな祭り、防災訓練、歌謡コンサート、演奏会、花見ドライブ、体力測定、コロコロカーリング

### (イ) 配食サービス事業

ご利用者の状態に応じた食事形態を提供するとともに、日々の安否確認や社会との繋がり確保により、独居高齢者等の生活を支えるため、京都市及び京都市社会福祉協議会との連携のもと、配食サービスを実施しました。

夕食については、小川、修徳、久我の杜が持ち帰り弁当を実施していますが、紫野でも平成30年1月から開始しました。

○利用状況（平成29年度）

区分	紫野	小川	修徳	西七条	塔南の園	久我の杜	山ノ内	合計
営業日	昼：月～日 夕：月～日	昼：月～日 夕：月～日	昼：月～日 夕：月～日	昼：月～日 夕：月～日	昼：月～金 夕：月～日	昼：月～日 夕：月～日	昼：月～日 夕：月～日	
登録者数 （人）	昼：－ 夕：34	昼：32 夕：37	昼：33 夕：20	昼：33 夕：19	昼：14 夕：34	昼：19 夕：10	昼：31 夕：33	昼：162 夕：187
延べ配食 数（食）	昼：－ 夕：645	昼：5,045 夕：2,705	昼：4,976 夕：1,323	昼：5,529 夕：1,637	昼：2,358 夕：8,443	昼：3,466 夕：1,564	昼：7,876 夕：10,718	昼：29,250 夕：27,035
1日平均 食数 （食）	昼：－ 夕：7.1	昼：13.8 夕：7.4	昼：13.6 夕：3.6	昼：15.1 夕：4.4	昼：9.0 夕：23.1	昼：9.4 夕：4.2	昼：21.5 夕：29.3	

※ 紫野，小川，修徳，久我の杜の夕食の配食は持ち帰り

**エ 地域密着型サービス事業**

**(ア) 小規模多機能型居宅介護事業所**

ご利用者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう，また，ご利用者の心身の状況や希望，生活環境等を踏まえ，通い・訪問・宿泊サービスを柔軟に組み合わせたサービスの提供を行いました。特に，全体的には，訪問サービスの要望が多く，自宅でその人らしい生活を営んでいただくことを目的としたサービスとして，訪問サービスの強化を行い，ご利用者のニーズに合わせた対応を行いました。

また，稼働率が大きく変動する中で安定した施設運営を図るため，地域密着型の4事業所（おがわ，みささぎ，山ノ内，桂坂）間で，情報の共有を行い，利用拡大に努めました。

○ 利用者の状況

①登録者数（平成30年3月末現在）

（単位：人）

事業所	小川	みささぎ	山ノ内	桂坂	合計
定員	24	25	25	25	99
30年3月末登録者数	22	20	20	11	73
30年3月末利用率（%）	85.1	75.7	75%	45.5	
29年度計画利用率（%）	87.5	84.0	84.0	68.0	
29年3月末登録者数	19	14	20	10	63
29年3月末利用率（%）	79.2	56.0	80.0	40.0	

②登録・廃止の状況（平成29年度）

（単位：人）

		小川	みささぎ	山ノ内	桂坂	合計
登録者状況	在宅	12	10	4	2	28
	他施設	0	2	6	1	9
	病院	0	2	0	3	5
	その他	0	0	0	0	0
	登録者数（計）	12	14	10	6	42
廃止者状況	在宅	1	1	0	1	3
	他施設	1	2	7	1	11
	長期入院	5	3	0	1	9
	死亡	2	2	3	2	9
	その他	0	0	0	0	0
	廃止者数（計）	9	8	10	5	32

③性別・年齢別の状況（平成30年3月末現在）

（単位：人）

区分		50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計	平均年齢
小川	男性	0	0	1	1	2	0	4	88.8歳
	女性	0	0	3	9	6	0	18	85.2歳
	合計	0	0	4	10	8	0	22	87.0歳
みささぎ	男性	0	0	2	1	0	0	3	78.6歳
	女性	1	0	2	8	6	0	17	85.6歳
	合計	1	0	4	9	6	0	20	84.6歳
山ノ内	男性	0	1	1	1	1	0	4	83.2歳
	女性	0	0	2	9	5	0	16	86.9歳
	合計	0	1	3	10	6	0	20	86.1歳
桂坂	男性	0	0	2	1	0	0	3	79.8歳
	女性	0	3	0	4	1	0	8	78.9歳
	合計	0	3	2	5	1	0	11	79.0歳
合計	男性	0	1	6	4	3	0	14	
	女性	1	3	7	30	18	0	59	
	合計	1	4	13	34	21	0	73	

## ④登録者の要介護区分内訳（平成30年3月末現在）

（単位：人）

	要支援		要介護						平均 介 護度	29年3月末 平均介護度
	1	2	1	2	3	4	5	計		
小川	0	0	2	7	6	5	2	22	2.91	2.58
みささぎ	1	1	4	5	5	1	3	20	2.67	2.14
山ノ内	0	0	5	8	3	3	1	20	2.35	2.45
桂坂	0	0	0	5	4	1	1	11	2.82	2.78
合計	1	1	11	25	18	10	7	73	2.68	2.49

## ⑤登録者のサービス利用状況内訳（平成29年度）

区分		通い	訪問	泊まり	合計
小川	実利用人員（人）	25	22	12	59
	延べ利用回数（回）	3,249	4,329	436	8,014
みささぎ	実利用人員（人）	26	13	18	57
	延べ利用回数（回）	2,956	2,108	940	6,004
山ノ内	実利用人員（人）	27	18	17	62
	延べ利用回数（回）	3,721	6,969	643	11,333
桂坂	実利用人員（人）	16	14	3	33
	延べ利用回数（回）	1,975	4,041	64	6,080
合計	実利用人員（人）	94	67	50	211
	延べ利用回数（回）	11,901	17,447	2,083	31,431

【参考】平成28年度		通い	訪問	泊まり	合計
合計	実利用人員（人）	94	57	55	206
	延べ利用回数（回）	11,625	11,422	2,875	25,922

## （イ）認知症対応型通所介護事業

認知症デイでは個別ケアの充実をさらに進めるため、アセスメントシートを見直し、一人ひとりの認知症状や身体の状態に合わせた支援をしました。また、ご家族や地域の方が参加する運営推進会議を年2回開催し、その内容を踏まえ、リハビリを兼ねた近隣への外出や地域行事への積極的な参加、家事担当による役割意識や達成感の醸成等を図るなど、自立した在宅生活が継続できるよう日常生活の質の向上に向けて取り組みました。

○利用定員と利用状況（平成29年度）

（単位：人）

区分	紫野
利用定員	12
営業日数	365
登録者数	22
1日平均利用人員	7.64
延利用人員	2,789
利用率（%）	63.7
29年度計画利用率（%）	60.0
28年度延利用人員	2,501
28年度利用率（%）	57.1

<上記のうち介護予防での利用状況>

（単位：人）

区分	紫野
登録者数	0
1日平均利用人員	0

**（ウ）認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）**

稼働率の安定化を図るため、待機者の情報収集を行い、スムーズな入居を進めるとともに、看取り介護も行なうなど、地域の中であたりまえの暮らしができるように支援しました。

ご利用者の個性を尊重し、家庭的な環境のもとでご利用者本位のサービスが提供できるよう、会議や研修を通し、サービスの資の向上に努めました。

○入居者の状況

①利用定員と利用状況（平成29年度）

区分	桂坂
入居定員（人）	9
3月末ご入居者数（人）	9
実利用人員（人）	11
延べ利用人員（人）	3,074
利用率（%）	93.6
29年度計画利用率（%）	90.0
28年度実延べ利用人員（人）	2,635
28年度利用率（%）	80.2

②性別・年齢別の状況（平成30年3月末現在）

（単位：人）

区分	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計	平均年齢	
桂坂	男性	0	1	0	0	1	0	2	81.1歳
	女性	0	0	0	3	4	0	7	90.2歳
	合計	0	1	0	3	5	0	9	88.4歳

③要介護度別利用状況（平成30年3月末現在）

（単位：人）

区分	要支援		要介護						平均介護度	29年3月末 平均介護度
	1	2	1	2	3	4	5	計		
桂坂	0	0	1	5	1	0	2	9	2.67	2.77
全体割合（%）	0	0	11.1	55.6	11.1	0	22.2	100		

### オ ケアハウス（軽費老人ホーム）

ご入居者が健康で自立した生活が営めるよう、日常生活での精神的、身体的な不安や悩みに対して、心理・情緒面でのサポートを行うなど、快適な日常生活が確保できるよう支援するとともに、アセスメントシートや記録を工夫することにより、対象者の課題の見える化が可能となり、ご入居者自身の自己能力の活用や社会参加等に配慮した支援を行いました。

社会福祉法人の第一種社会福祉事業であるケアハウスとして、虐待ケースや退院等で次の住居がない方など、社会的ニーズのある高齢者の受入についても積極的に対応しました。

#### ○入居者の状況（久我の杜）

##### ①入居状況（平成29年度）

入居定員（人）	50
3月末入居者数（人）	49
実利用人員（人）	57
延利用人員（人）	17,767
利用率（%）	97.5
29年度計画利用率（%）	97.0
28年度延利用人員（人）	18,045
28年度利用率（%）	98.9

##### ②入居・退居の状況（平成29年度）

（単位：人）

入居状況				退居状況					
在宅	他施設	その他	合計	在宅	他施設	入院	死亡	その他	合計
8	2	0	10	0	3	2	2	0	8

③性別・年齢別の状況（平成30年3月末現在）

	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
男性（人）	2	5	7	3	17
女性（人）	1	7	16	8	32
合計	3	12	23	11	49

④要介護度別利用状況（平成30年3月末現在）

（単位：人）

要介護等	要支援			要介護						非該当	合計
	1	2	計	1	2	3	4	5	計		
30年3月末入居者数	4	7	11	9	5	3	0	0	28	21	49
29年3月末入居者数	5	8	13	8	7	1	0	0	16	18	47

⑤各種サービスの利用状況（平成30年3月末現在）

（単位：人）

	訪問介護	通所介護	訪問看護	合計
30年3月末利用人員	16	14	3	33
29年3月末利用人員	16	13	3	32

**カ 地域包括支援センター（指定介護予防支援事業を含む。）**

地域包括ケアシステムの中核を担う機関として、高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう、圏域及び学区の地域ケア会議を開催する中で、それぞれのニーズの把握や地域とのネットワーク構築の強化など、各関係機関と連携を図り、包括的及び継続的な支援を行うとともに、権利擁護、介護支援専門員に対する助言・指導等も実施するなど、地域包括ケアの推進に向け取り組みました。

また、実態把握と支援を要する高齢者に対して適切な支援が実施できるよう全戸訪問活動を実施するとともに、居場所づくりなど地域と連携し作りだしていくため、介護予防推進センターと協働し介護予防普及啓発に取り組みました。

なお、西院地域包括支援センターにおいては、担当圏域の第1号被保険者数及びそのうちの単身世帯数増により、専門職（看護師）1名の増員を行いました。

○運営状況（平成29年度、介護予防給付管理件数は平成30年3月末現在）

区分	紫野	小川	本能	修徳	西院	久我の杜	合計
総合相談延回数（回）	1,301	4,118	1,349	699	1,782	1,821	11,070
地域関係機関連携（回）	35	183	55	33	79	81	466
ケアマネ支援相談（件）	125	246	78	75	8	21	553
介護予防給付管理(3月分)（件）	227	259	222	122	359	204	1,393
介護予防普及啓発（回）	62	114	46	30	40	59	351

**キ 居宅介護支援事業所**

地域包括ケアの推進に向け、地域に根ざした居宅介護支援事業所として、行政や地域包括支援センター、医療機関、関係機関等と連携を図るとともに、地域ケア会議や研修へ積極的に参加し、法令遵守の徹底、情報の共有、チーム力の強化等ケアマネジャーの能力の向上を図り、質の高いサービスが提供できる

よう努めました。

○ご利用者の給付管理件数（平成30年3月末現在）（単位：件）

区分	紫野	本能	修徳	みささぎ	西七条	塔南の園	西院	久我の杜	合計
給付管理件数(3月分)	184	93	133	70	114	108	130	114	946
29計画給付管理数	190	105	140	70	105	110	130	110	960
29年3月末給付管理件数	198	104	138	67	117	106	125	115	970

ク 老人介護支援センター（西七条，塔南の園）

地域・関係機関等との連携のもと，高齢者が地域において安心して暮らし続けられるよう，地域包括支援センターとも連携して，情報提供，相談，指導等を行うなど，地域に根ざした支援センター体制の充実に努めました。

※ 他の施設では，地域包括支援センターで一体的に実施

ケ 地域介護予防推進センター（上京区地域介護予防推進センター）

上京区内の地域包括支援センターと連携の強化を図り，高齢者が介護を必要とせずいつまでも元気に暮らせるよう，地域における介護予防の拠点として，専門のスタッフが身近な地域に出張して，運動器の機能向上や栄養改善，口腔機能の向上等のための介護予防教室や講演会等の介護予防の取組や地域で自主的に介護予防の取組をしたいグループなどに対して，指導や助言を行うなど，介護予防に関する普及啓発や地域における介護予防に関する活動などの支援を行いました。

○一般介護予防事業対象者施策（平成29年度）（単位：回）

区分	講演会 (運動)	講演会 (栄養)	講演会 (口腔)	講演会 (その他)	地域活動 組織支援等	その他
30年3月実績回数	492	16	12	133	626	19
29年3月実績回数	535	16	12	121	215	19

コ 社会貢献・地域貢献取組

○京都市高齢者すまい・生活支援事業の取組（平成29年度）

契約件数（単位：件）

区分	紫野	久我の杜	合計
平成30年3月末現在契約総数	3	0	3
平成29年度中に契約した件数	0	0	0
平成29年3月末現在契約総数	4	0	4
平成28年度中に契約した件数	2	0	2

相談件数（単位：件）

区分	紫野	久我の杜	合計
平成29年度相談件数	5	2	7
平成28年度相談件数	13	2	15

※電話での問合せのみは件数には含まず

○地域における高齢者等を対象とした食事会等の取組

区分		おがわ食堂 (小川)		本能食堂 (本能)		ふれあい食堂 (修徳)		おいでやす食堂 (西院)	
		実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
29年度	3月末 実績	2回	60人	20回	198人	9回	415人	12回	1,540人
	計画	2回	60人	—	—	12回	480人	12回	1,200人
28年度実績		—	—	—	—	6回	313人	4回	353人

※ おがわ食堂：平成29年度は試行として、平成29年11月、平成30年2月に各1回開催

※ 本能食堂：平成30年1月23日から、毎週火・金曜日開催

※ ふれあい食堂（修徳）は、平成28年10月、おいでやす食堂（西院）は平成28年12月からそれぞれ開催

## 4 児童館部門

児童館の活動の基本的理念である、①児童の心身ともに健やかな育成（子ども自立支援）、②子育て家庭支援（子育ての社会化）、③地域の児童健全育成に関する総合的な機能を有する活動拠点としての役割（地域社会の子育て支援機能を創造する共生のまちづくり）を果たすため、法人の中期経営計画及び各児童館の年間活動計画に基づき取組を推進しました。

また、児童館の事業運営やサービス提供内容について外部評価を進め、業務の改善や透明性を高めるとともに、引き続きコンプライアンスの推進に努めるなど、サービスの質の向上に取り組みました。

### （1）取組の状況

#### ア 中期経営計画の推進

##### （ア）地域の異世代交流の促進

特別養護老人ホームに併設する児童館だけでなく、すべての児童館において、児童館まつり等のイベントや日常の取組、活動等において、高齢者や地域住民の皆さまと乳幼児や児童との異世代交流を促進するための取組を積極的に行いました。

また、児童館ごとの地域の状況等を踏まえた特色ある取組として、子どもや保護者を対象にした高齢者体験等の実施、地域（大人）のお祭りや事業企画への児童館としての主体的な参画、高校生ボランティアによる高齢者への配食活動の実施など、児童を軸にしながら、地域住民の皆さまとの、また地域住民の皆さま同士の交流を深めることにより、地域全体で子どもを育て、子育て家庭を支える環境づくりや地域福祉の向上を目指す取組を推進しました。

##### （イ）障害のある子ども障害のない子ども共に育ち合う環境づくり

地域の障害のある児童を積極的に受け入れ、障害のある児童の居場所を確保するとともに、障害のある児童と障害のない児童が同じ環境で育ち合い、互いに認め合い支えあう意識の醸成を図りました。

また、近隣の総合支援学校との連携による児童館事業への障害のある児童の参画や、発達障害に関する講座の開催、障害のある児童と住民との交流等を通じて、障害のある児童への地域住民の皆さまの理解を深める取組を推進しました。

##### （ウ）子ども・子育て支援新制度における学童クラブ事業の充実

子ども・子育て支援新制度に基づき、利用児童が増加している状況に対応し、運営基準に基づき適切に職員を確保するなど、学童クラブ事業の円滑な運営に努めました。

また、塔南の園児童館において、公益社団法人京都市児童館学童連盟を通じて大学と連携し、児童館に来る子どもたちに学習支援を行う取組を新たに実施しました。

##### （エ）職員の人材確保・定着及び育成について

人材育成・定着を図るため、福祉資格取得を促進するための制度を新たに開始しました。また、子ども・子育て支援新制度における利用児童の増加等に対応する職員体制を安定的に確保するため、平成29年4月から、国や京都市の動きに基づいた平均3%の給与月額を増額を行う正職員の処遇改善を実施するとともに、臨時職員の処遇改善（クラス担当等一部職員の時給単価の引上げ）を実施しました。

なお、現場における業務量の増加を踏まえ、支援に直接関係しない一部事務処理を本部（調整室）に移管することとして、年度の後半から段階的に取組を進めました。

## イ リスクマネジメントの強化及びコンプライアンスの推進

児童館と児童館事業を統括する本部が引き続きしっかりと連携し、適切かつ効率的な事業運営に取り組むとともに、児童館部門においては、錦林児童館（5月）が内部監査チームによる監査を受け、業務改善を行いました。

また、平成27年度から順次受診を始めた第三者評価について、塔南の園児童館が受診（6月）し、全ての児童館が受診しました。

さらに、会計監査人の指導を踏まえ、学童クラブの諸費（おやつ代等）の入出金について、平成29年度（10月）から会計に反映させました。

## ウ 地域における公益的な取組

地域の福祉拠点としての特性を生かして、地域の子どもや高齢者等の孤食の解消、居場所の確保、交流等を目指した「ふれあい食堂」を、総合福祉施設修徳の15周年記念事業として平成28年10月から試行的に実施し、その1年間の成果を踏まえ、平成29年10月以降も引き続き実施しました。

○「ふれあい食堂」の実績

	実施回数	参加者数
平成28年度下半期	5回	254人
平成29年度	9回	415人

## (2) 事業別の主な実績（児童館利用状況）

(学童クラブ事業)

		錦林	明德	修徳	塔南の園
月平均登録者数(人)		136 (130)	134 (121)	132 (104)	78 (69)
支援の単位(クラス数)		3 (3)	3 (3)	3 (3)	2 (2)
延べ出席者数(人)	1年	6,631	10,095	10,363	5,013
	2年	11,463	7,505	4,769	5,830
	3年	3,616	5,178	2,661	2,410
	4年	2,334	820	461	876
	5年	1,378	1,632	420	262
	6年	443	785	0	314
	合計	25,865	26,015	18,674	14,705
実施日数(日)		292	293	293	291
1日平均出席者数(人)		89 (89)	89 (82)	64 (55)	51 (52)

注：( )は平成28年度の数値。

(児童館事業：学童クラブ事業以外)

		錦林	明德	修徳	塔南の園
延べ利用者数(人)	乳幼児	2,429	4,581	5,666	2,020
	小学生	1,800	2,511	5,004	2,463
	うち、放課後ま なび教室連携	304	44	0	0
	中高生	280	351	1,521	787
	地域住民等	2,719	4,230	6,266	3,386
	小計	7,228	11,673	18,457	8,656
延べ受入ボランティア数(人)	中高生	30	17	59	576
	大学生	209	133	62	665
	地域住民等	496	598	1,374	708
	小計	735	748	1,495	1,949
合計(人)		7,963	12,421	19,952	10,608
開館日数(日)		291	290	294	291
1日平均来館者数(人)		27	43	67	36
【参考】28年度1日平均来館者数(人)		28	43	78	35

(児童館事業全体)

(単位：人)

児童館延べ利用総数	33,828	38,436	38,626	25,313
【参考】28年度児童館延べ利用総数(人)	34,560	37,363	38,933	25,596

### (3) 事業別の主な取組内容

#### ア 乳幼児親子対象の活動(児童館・子育てほっと広場)

保護者同士の交流を通して、核家族化、少子高齢化の下での地域における子育ての仲間づくりを進めました。また、引き続き、乳幼児親子が気軽に利用しやすい、来館しやすい雰囲気づくりに努めました。

#### (ア) 乳児幼児クラブ(登録制)

年間を通して子どもの成長を踏まえた活動を展開するとともに、子育て親子の出会いの場づくり、気軽に話せる関係づくりを進めました。

		錦林	明德	修徳	塔南の園
3月末乳児・幼児クラブ登録数(組)		124	115	106	36
延べ利用者数(人)	乳幼児	800	1,568	2,086	730
	保護者	771	1,418	1,842	658
【参考】28年度末乳児・幼児クラブ登録数(組)		65	117	105	37
延べ利用者数(人)	乳幼児	798	2,041	1,259	676
	保護者	757	1,795	1,156	648

#### (イ) 遊びと集いの活動

気軽に自由参加ができる活動プログラムを工夫し、家庭に閉じこもりがちな親子や孤立した子育て環境に陥りがちな親も参加しやすい「出会いとふれあいの機会と場」を提供しました。

錦林
・遊びの広場(13回)・赤ちゃんサロン(12回)・ぶらっとサロン(34回) ・るんるんクッキング(1回)・左京南部親子スマイルひろば(年1回)
明德
・あそびの広場(月5回)・ふたごの広場(月1回)・移動児童館(1回)・親子リズム(月1回)・小学生と交流 親子リズム/水遊び(学休期間)・ブックトーク(月1回) ・出番でっせ!お父さん!!(4回)・左京北部親子サンサン広場(年1回) ほか
修徳
・ころころクラブ(月1回)・ちびっこらんど(月4~5回)・あそべ MONDAY(月4~5回) ・パパぱーく&ふたごの広場(月1回)・シュートク Café(毎日)・子育てサロンとの連携(年19回)
塔南の園
・いっしょに遊ぼう(月1回)・トランポリン, ボールプールデー(月2~3回)

### (ウ) 子育て支援講座の開催

母親たちのニーズに応え、専門家との連携と協働により各種の講座を開催するとともに、妊娠・出産・育児の不安を和らげ、気軽に相談ができる場と仲間との出会いの機会を作りました。

錦林
・ベビーマッサージ(月1回) ・親子ヨガ(月1回) ・子育て講座(2回) ・絵本相談会(1回) ・0歳児教室(9回) ・子育てワークショップ(3回)
明德
・ベビーマッサージと交流ランチタイム(月2回)・キッズマッサージと交流ランチタイム ・産後のお母さんのための体操教室(月1回) ・発達障がいサポーター講座(年2回) ・子どもの発達と関わり方 ・子どもの絵っておもしろい ・ヘアカット教室 ほか
修徳
・ベビーマッサージ(月1回) ・こと Hugumi プロジェクト子育て講座①~② ・親子交通安全教室(年2回)・警察音楽隊コンサート ・おはなし広場 ・笑顔写真レッスン ・子育てミニ講座「食材とカラダ」 ・ほっこり子育てひろば
塔南の園
・ベビーマッサージ講座 ・マタニティヨガ講座 ・ダンスを楽しもう ・アロママッサージ

### (エ) 子育てグループの活動支援

自然と互いに助け合う雰囲気が生まれ、子育ての悩みや不安を解消し元気が甦るなど、自助と共助のグループ活動を支援しました。

錦林
・幼稚園グループの放課後遊び（ママコーラスサマーコンサート） ・きんりんカフェ（随時）・抱っことおんぶの学びの講座（お母さん自主企画）
明德
・交流ランチタイム ・子育てママの集い「メイクアップサークル」（保護者が講師になりメイクアップを学ぶ。）
修徳
・おしゃべりカフェ，ヨガサークル（月3回） ・つくルーム（手芸サークル，月2回） ・英語であそぶ キッズ英語 HOP STEP TOWN（月2回） ・大人の英会話（月2回） ・フラサークル「フラマクアヒネ」「フラフィットネス」（月2回）
塔南の園
・トールペイント，英会話，親子体操，ゴスペル，ダンスなどの母親同士のグループ活動（月1～4回） ・「さくらんぼクラブ」（乳児期から続く母親同士の集まり，月1回）

## イ 学童クラブ事業

安全で家庭的な生活空間と，健全な遊びを通して異年齢集団活動及び創造的自由遊びの場を提供しました。

また，保護者をはじめ地域住民の皆さまやボランティア等の事業への参画を促し，地域の子どもの育成支援の核となるよう取組を進めました。

さらに，公益社団法人京都市児童館学童連盟を通じて大学と連携し，児童館に来る子どもたちに学習支援を行う取組を，夏休み以降，塔南の園児童館において行いました。

## ウ 障害のある児童の統合育成と居場所づくり

学童クラブ事業において，引き続き積極的に障害のある児童を受入れ，適切な援助により子ども同士の豊かな相互関係を促進する等，統合育成環境の充実を図りました。

また，自由来館における障害のある児童やその家庭に対しても，学校，児童福祉センター，医療機関や発達障害者支援センター等との連携を深め，障害の状況や発達に合わせて適切な支援を行うとともに，成長発達に悩みをもつ家庭同士の支え合いとつながりを支援しました。

なお，近年，学童クラブ事業を中心に利用児童が大幅に増加しており，限られたスペース，区画の中で児童の密度が高まっていることで，特に障害のある児童にとって落ち着ける居場所の確保が課題となっています。

（単位：人）

		錦林	明德	修徳	塔南の園
障害のある児童利用者数（人）	学童クラブ	17	10	10	8
	自由来館	5	8	2	4
【参考】28年度実績	学童クラブ	17	8	9	10
	自由来館	6	5	2	5

## エ 中高生の活動支援

### （ア）中高生と赤ちゃんとの交流事業の実施

中高生を中心に，赤ちゃんとおふれあい，関わることにより，子育ての喜びや他者に対する関心，

錦林
・中高生と赤ちゃんとの交流事業（京都市近衛中学校家庭科授業連携「近衛であそぼう」） ・岡崎中学校チャレンジ体験受入れ ・白河総合支援学校との協働「専門教科との連携」（乳幼児親子活動におけるパン販売，学童クラブお誕生カード作成，乳幼児クラブ運動会への参加）
修徳
・下京中学校連携中高生と赤ちゃんとの交流事業「赤ちゃん講座パパママ体験」
塔南の園
・九条中学校連携事業「命の授業」「乳幼児親子と出会うための事前授業」「パパママ体験」

共感の能力を高めるなど，中高生の健全育成を図りました。

### （イ）児童館の特性を生かした活動支援

中高生が自ら進んで活動を行えるよう，年齢を考慮して活動場所を設定し，受け入れました。

また，年長者として小学生等年少者への配慮，遊びへの工夫などを自主的に行えるように働きかけをするとともに，遊び以外でも，地域貢献活動や世代間交流の活動等に年齢相応の役割を持って参加できるように促し，社会性を身に付けられるように支援しました。

さらに，生活面での支援が必要である課題を抱える利用者に対しては，学校等関係機関と連携して対応しました。

## オ 小地域における児童福祉の拠点施設としての活動

### （ア）地域子育て支援ステーション事業の実施

地域（小学校通学区域）の子育てネットワークづくりを行うため，各児童館がその中核的役割を担う基幹ステーションとなり，地域団体や関係機関によるネットワーク会議の設置や各種事業の実施に取り組みました。

具体的には，各小学校区の実情に合わせた子育て相談の実施や，活動場所や児童館の資源の提供を行うとともに，子ども支援センターや保健所，学区内保育所と連携し，子ども育成と子育てに関する情報の収集・発信を充実し，これらのネットワークを活かして，児童虐待等の発生予防と早期発見，発達成長課題や福祉課題の早期対応に努め，専門機関への連絡，相談，調整等を行いました。

#### ① 地域の子育て支援ネットワーク構築に係るネットワーク会議の開催状況

		錦林	明德	修徳	塔南の園
ネットワーク会議の開催状況	回数	5	4	13	2
	参加機関数	18	13	15	5
【参考】28年度実績	回数	5	1	8	2
	参加機関数	23	12	24	5

② 各種事業の実施状況

錦林
・地域子育てサロンと連携（岡崎地域：毎月1回，聖護院地域：年1回） ・児童福祉センター，左京区子どもはぐくみ室，拠点保育所との連携による子育てワークショップ（全3回） ・「左京区南部親子スマイル広場」実行委員会事務局運営 ほか
明德
・移動児童館（修学院保育所共催） ・乳幼児親子と小学生の交流 ・児童福祉センター，左京区子どもはぐくみ室，拠点保育所との連携による子育て講座「子どもの発達と関わり方」（全3回） ・「左京区北部親子サンサン広場」実行委員会参加 ほか
修徳
・はじめてあかちゃん応援「ちいさなおはなし会」①～④（子育てサロンとの連携） ・三世代交流「おみせやさんごっこ」 ・夏だ！ちびっこ水あそび①～⑤ ・笑顔写真レッスン ・交通安全クリスマスコンサート ・「松原みちの駅こどもカフェ」 ほか
塔南の園
・子育て相談，助言 ・南区支援ステーション会議への参加 ・わくわくクリスマスの実施 ほか

○ 子ども・家庭相談

（単位：件）

		錦林	明德	修徳	塔南の園
相 談 ケ ー ス 数	子ども	21	19	18	29
	家庭	55	4	4	12
【参考】28年度相談ケース数	合計	67	29	15	32

（イ）地域の子育て環境づくり

地域の子ども達の健全な遊び場として機能するよう各種事業を実施するとともに，幅広い世代にサービスを提供できる協会の特性を生かし，子どもが主体的に地域活動へ参画するよう促し，地域における異世代交流を促進する拠点としての活動に取り組みました。

また，「子ども・子育て家庭相談」への対応や，年長児童や地域住民の皆さま，青年ボランティアの活動を支援し，地域諸団体との連携を深める中で，地域の子どもネットワークの形成に努めました。

○ 小学校高学年のボランティア活動

錦林
<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの乳幼児親子活動（夏休み小っちゃい先生活動3回） ・駄菓子販売</li> <li>・「紙野球クラブ」「運動クラブ」「手づくり教室」「児童館まつりゲームコーナー」の企画制作運営 ・きんりんこども映画祭企画運営（準備3回・実施1回） ほか</li> </ul>
明德
<ul style="list-style-type: none"> <li>・左京・東山児童館学童保育所まつり2017, 明德児童館まつりの企画・運営</li> <li>・おばけ屋敷, クリスマス会, 卒業パーティーの企画・運営 ・長期休業中の学童クラブ支援（小さい先生の日） ・防災演劇ワークショップ/防災演劇発表会&amp;いろいろ体験会</li> </ul>
修徳
<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児クラブ「お買い物ごっこ」企画・制作・運営 ・夏休み中の乳幼児クラブ手伝い</li> <li>・夏だ！ちびっこ水あそび企画, 運営 ・ふれあい食堂準備</li> <li>・下京警察署くつくっつけ隊</li> </ul>
塔南の園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児親子向け映画会の企画・運営 ・あそびの広場の運営</li> <li>・夏祭り（お化け屋敷, パレード, ヨーヨー祭り）の運営</li> </ul>

○ 中高生のボランティア活動

錦林
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常活動での遊びサポート ・文教高校チアダンスクラブ（合同練習+サポート）</li> <li>・ノートルダム女学院中学2年サービスラーニング教育プログラム（学童クラブ夏の生活支援2日間） ・京都女子高生徒部+6年生（乳幼児親子支援活動 クリスマス広場）</li> </ul>
明德
<ul style="list-style-type: none"> <li>・KTC中央高等学院の高校生による乳幼児プログラムへの参加</li> <li>・チャレンジ体験の受入 ・日常活動での遊びボランティア</li> </ul>
修徳
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常活動での遊びボランティア ・地域行事（サマーナイトイン修徳）模擬店</li> <li>・ふれあい食堂片づけ ・卓球指導</li> </ul>
塔南の園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨルの配食活動</li> <li>・小学生活動（みんな遊び）のサポート ・夏祭り（ゲームコーナー）の企画・運営</li> </ul>

○ 地域諸団体・広域エリアボランティア・関係機関等との連携による活動 ( ) は団体名

錦林

- ・絵本を通した子育て講座（書店きんだあらんど）
- ・きんりん子育てワークショップ（発達相談所，左京区役所，公立三保育所）
- ・左京南部「親子スマイルひろば」（4児童館，2保育所，地域関係団体，左京区役所ほか）
- ・交通安全教室，防犯教室（川端警察署） ・避難訓練（左京消防署）
- ・「親子ヨガ」（学童クラブ保護者，聖護院民生協議会）
- ・乳幼児親子サロン「まめっこ」（岡崎民生協議会，社会福祉協議会）
- ・乳幼児親子広場「親子ほっこり広場」（聖護院民生協議会）
- ・駄菓子デー（岡崎，聖護院，川東民生協議会） ・ダンスクラブ（地域住民ボランティア）
- ・おりがみクラブ（学生ボランティア） ・0歳児教室「離乳食」（市役所）
- ・将棋クラブ活動サポート（岡崎錦寿会，聖護院地域住民，川東地域住民）
- ・あみっこクラブ企画運営（遊びボランティア，統合育成介助ボランティア）
- ・夏，秋，冬のリクレーション企画・運営（学童クラブ保護者会レク担当）
- ・「書写検定」企画・運営（学童クラブ保護者OB）
- ・児童館まつり（民生協議会，主任児童委員，老人福祉員，消防分団，将棋クラブサポーター，学童クラブ保護者会，立命館大学ボランティアサークル「ロビンフッド」ほか）
- ・「わいわい文化祭」ダンスクラブ発表（岡崎地域）
- ・イベント「東部まち美化フェスタ」ダンスクラブ発表（東部まち美化事務所）

明德

- ・あそびの広場（さくら会） ・産後の体操教室（カイロプラクター）
- ・ベビーマッサージ等への協力（明德小学校区社会福祉協議会）
- ・高齢者と乳幼児親子のふれあいタイム（岩倉地域包括支援センター他共催）
- ・高齢者子どもサポーター講座（岩倉地域包括支援センター，児童館運営協力会）
- ・学童クラブ朝学習支援（児童館運営協力会）
- ・L e t ' s 盆踊り（児童館運営協力会，岩倉女性会）
- ・学童クラブキャンプ（大学ボランティアサークル「ロビンフッド」）
- ・アイアイさんのブックトーク（岩倉地域人形劇サークル「アイアイ」）
- ・将棋クラブ（老人会） ・児童館まつり（児童館運営協力会，関係機関，大学）
- ・「発達障がいサポーター講座」（発達障がい啓発キャラバンそらまめプロジェクト）
- ・保護者会大掃除（学童クラブ保護者会） ・スマホ講座（携帯電話市民インストラクター）
- ・特別養護老人ホーム「岩倉の郷」と交流 ・石座神社大祭にて和太鼓演奏（石座神社）
- ・子育て講座「子どもの絵っておもしろい」（絵画教室主催者）
- ・子どものための障害理解講座（明德小学校，保護者）
- ・防災演劇ワークショップ，防災劇発表会&防災いろいろ体験会（防災アドバイザー・NPO・岩倉安心安全ネット推進協議会他） ・高学年手作りクラブ（学童クラブ保護者）
- ・クリスマス会，正月遊び，であいふれあい発表会（児童館運営協力会）

修徳

- ・修徳ふれあい食堂（地域ボランティア，大学生他）・繁昌神社まつり（まつり実行委員会）
- ・梅小路公園であそぼう（下京4児童館，崇仁保育所）・子育て講座（崇仁保育所 年2回）
- ・親子交流会，野外活動，子育て講座，パパスポーツ企画，松原みちの駅等（学童クラブ保護者）
- ・高齢者施設「修徳」「デイサービス」訪問，交流
- ・将棋教室指導，読み聞かせ，おりがみ指導（地域ボランティア）
- ・修徳自治会行事（夏祭り等）（修徳自治連合会 修徳少年補導）
- ・子育てサロン「らっこクラブ」「ポコポコ」「てんとうむし」「ユーユー」（豊園，修徳・成徳・格致，開智，有隣各民生児童委員協議会）
- ・池坊保育園，崇仁保育所，下京区子ども支援センター，下京4児童館との活動協力
- ・松原みちの駅事業（松原界限活性化活動プロジェクト，松原京極商店街，京都大学高田研究室，NPO 法人フリンジシアタープロジェクト劇団衛星）
- ・はなのおくりもの（下京中学成徳学舎管理主事花育活動）
- ・ハロウィンパレード（修徳学区自治連合会）
- ・交通安全教室（下京警察署）
- ・自転車点検&TSマーク自転車保険普及事業（修徳交通対策協議会）
- ・児童館，学童クラブ行事（立命館大学ボランティアサークル「ロビンフード」）
- ・地震について考える日（エコ学区 修徳消防分団 松原通活性化プロジェクト NPO 法人フリンジシアタープロジェクト）

塔南の園

- ・音楽クラブ（特別養護老人ホーム塔南の園，地域コーラスグループすみれ会）
- ・生け花クラブ，農園芸クラブ，将棋クラブ（特別養護老人ホーム塔南の園，デイサービス）
- ・だがしデーの運営（少年補導委員会）
- ・学習支援事業（大谷大学，学生ボランティア）
- ・九条中学校との赤ちゃんふれあい交流への主任児童委員のサポート
- ・九条中学校学校運営協議会
- ・夏祭りへの福祉後援会の協力
- ・夏祭りの運営参加（学童クラブ保護者）

**（ウ）京都市ファミリーサポートセンター南支部（塔南の園児童館内）の運営**

地域における市民相互の子育て支援として，ファミリーサポート会員組織に関する募集・登録，研修，広報と，京都市ファミリーサポート本部との連絡調整等を実施しました。

依頼会員	登録会（回）	3
	登録数（人）	18
提供・両方会員	講習会（回）	1
	登録数（人）	4
依頼受付（件）		3